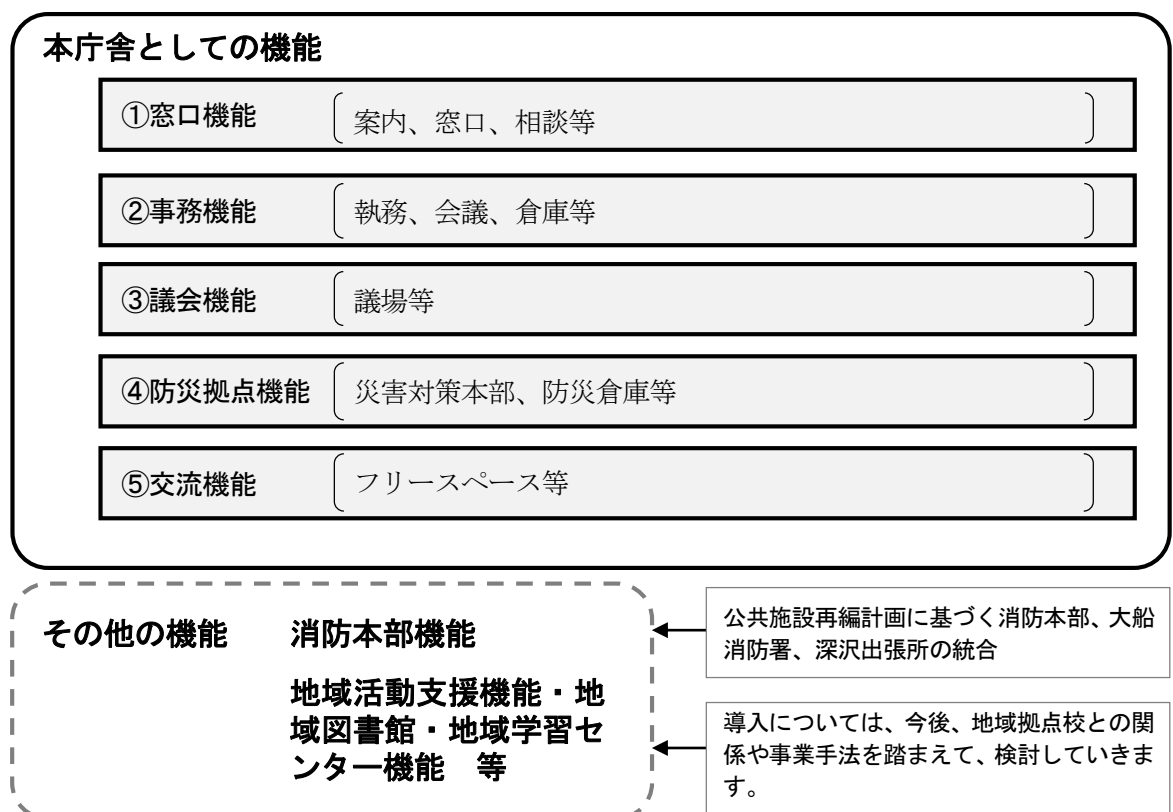


## ■ 本庁舎等に導入する機能

### 1 本庁舎等に導入する機能（検討素材）

本庁舎に導入する機能は、公共施設再編や防災拠点強化の観点から、窓口機能、事務機能、議会機能、防災拠点機能、交流機能の5つを捉えていますが、付随するものとして、基本方針に「人や民間資金を呼び込む本庁舎」として掲げたように、市民対話、e-モニターアンケート結果や鎌倉市公共施設再編計画を踏まえ、消防本部機能や深沢地域の地域活動支援や図書館、学習センター機能の導入も捉えていきます。

なお、議会機能については、一般的には本庁舎の他の機能と関係性から、同じ場所にあることが多いのですが、今後、市議会と調整を図りながら検討していきます。



#### 1) 本庁舎機能

本庁舎の機能は、次の基本的な考え方に基づき、具体的に進めていきます。

##### ①窓口機能

- ・市民利用の多い窓口や総合案内は低層階に集約
- ・快適に過ごすことができる待合ロビーと子どもが楽しく待てるスペースの確保
- ・スムーズな動線、見やすく分かりやすい案内サインの設置
- ・相談窓口は相談者のプライバシーに配慮

##### ②事務機能

- ・各部署の業務の特性や関係性を考慮した執務スペースの配置
- ・組織の機構改革や職員数の変動等に対応できるフレキシブルな空間構成

- ・ 日常利用の会議室や打合せスペースとしての利便性や効率性を考慮した配置
- ・ 委員会や審議会等の形態や人数に合わせて柔軟に対応できる会議室の確保
- ・ 文書電子化等による文書量のスリム化による倉庫面積の省力化

### ③議会機能

※今後、市議会と調整を図った上で、検討していきます。

### ④防災拠点機能

- ・ 事業継続に対しても有効な免震構造等による耐震性能や様々な災害に対する安全性の確保
- ・ 災害対策本部室と消防本部や関連部署による連携や受援力が発揮できる配置やスペースの確保
- ・ 災害時の情報把握、的確な災害対策活動、市民への情報提供を行うための情報・通信設備機器の導入、事業継続計画（BCP）に対応するための電力の確保や通信ネットワークのバックアップ化
- ・ 非常用電源や給排水設備の耐震性強化
- ・ 食料等の備蓄やそのためのスペースの確保
- ・ 災害時も見据えたトイレや一定期間の飲料を確保する貯水槽の設置

### ⑤交流機能

- ・ エントランス周辺や屋外スペースは、一体的に整備する総合体育館や公園等との機能的・空間的なつながりに配慮
- ・ 市民の交流を支える多目的スペースや市民利用会議室等の適切な配置
- ・ 市民の憩いや活動、交流を育むスペースやイベントスペースなどに利用できるようなスペースの有効活用
- ・ 暮らしに役立つ情報の発信や行政資料・市ホームページの閲覧等の情報収集ができるスペースの設置

## 2) その他の機能

消防本部（大船消防署（消防本部）・深沢出張所）については、鎌倉市公共施設再編計画に示しているように、深沢地域整備事業用地（行政施設用地）への移転整備の位置づけがあります。また、本庁舎基本方針に掲げた「総合的な防災力を持つ本庁舎～防災力の強靱化～」を踏まえるとともに、規模、コストの観点も考慮した本庁舎との一体的整備を進めます。

深沢行政センターについては、公共施設再編計画の中で、窓口機能は本庁舎やコンビニエンスストア等が、地域活動支援機能、図書館、学習センター機能は地域拠点校がそれぞれ担うこととしています。しかし、本庁舎が深沢地域整備事業用地（行政施設用地）に移転するに当たり、市民対話において、日常的な市民の交流や活動が災害時の共助機能に寄与するという意見があったこと、e-モニターアンケート結果において、本庁舎と併設する機能として地域の図書館・学習センター機能の要望があったことを踏まえ、本庁舎にこれら機能を導入することについて検討します。

また、事業手法の検討に併せて、民間資金や民間のノウハウを生かすため、民間機能の導入も検討していきます。